

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所, No.31, 2005.1 : 7-14
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4275
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

大木 英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ。1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学（ニューヨーク）ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。東京神学大学名誉教授。現在、聖学院大学大学院教授。学校法人聖学院院長・理事長。聖学院大学総合研究所長。

〔著書〕『ブルンナー 人と思想』（日本基督教団出版部，1962年），『ピューリタニズムの倫理思想』（新教出版社，1966年），『ピューリタン——近代化の精神構造』（中央公論社，1968年），『終末論的考察』（中央公論社，1970年），『終末論』（紀伊國屋書店，1972年），『現代人のユダヤ人化——現代文明論集』（白水社，1976年），『キリスト入門』（ヨルダン社，1976年），『歴史神学と社会倫理』（ヨルダン社，1979年），『偶然性と宗教』（ヨルダン社，1981年），『バルト』（講談社，1984年），『日本の神学』（共著，ヨルダン社，1989年），『主の祈り』（聖学院大学出版会，1990年），『新しい共同体の倫理学 基礎編』（上・下，教文館，1994年），『日本は変わるか——戦後日本の終末論的考察』（共著，教文館，1996年），『ローマ人への手紙——現代へのメッセージ』（教文館，1998年），『宇魂和才の説——21世紀の教育理念』（聖学院大学出版会，1999年），『時の徴——第三ミレニアムとグローバリゼーション』（教文館，2000年），『組織神学序説——プロレゴメナとしての聖書論』（教文館，2003年），その他。

坂本 義和 さかもと・よしかず

1927年，米国ロサンゼルス市生まれ。東京大学法学部卒。東京大学教授を経て，明治学院大学教授，国際基督教大学平和研究所研究員などを歴任。東京大学名誉教授。72～74年国連研修所（UNITAR）特別研究員，79～83年国際平和研究学会（IPRA）代表。

〔著書〕『核時代の国際政治』，『平和——その現実と認識』，『軍縮の政治学』，『地球時代の国際政治』，『相対化の時代』，『坂本義和集』全6巻（岩波書店）など，英文著作を含めて著書多数。

岩島 久夫 いわしま・ひさお

聖学院大学総合研究所・大学院客員教授(平和学)。1926年(大正15年)朝鮮京城府(現ソウル)生まれ、本籍岐阜県。海軍兵学校卒(74期)。東京大学法学部政治学科(旧制)卒、同大学院(旧制)にてアメリカ政治史修学。20年余り防衛研究所所員として国際安全保障問題の研究・教育に従事、1987年戦史部長で退官。後、岩手大学、南山大学等教授(国際政治学)、アレン国際短大学長を経て98年10月より現職。89年より岩手日報社客員論説委員。

〔著書〕『心理戦争』、『説得の科学』、『アメリカの戦略思想』、『情報戦に完敗した日本』、『奇襲の研究——情報と戦略のメカニズム』、『リーダーと情報力』など。

中井 検裕 なかい・のりひろ

1958年大阪生まれ。1986年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。明海大学不動産学部助教授、東京工業大学助教授などを経て、2002年より東京工業大学大学院社会理工学研究科教授。工学博士。専門は都市計画。

〔著書〕『都市の風景計画』、『都市計画の挑戦』、『日本の風景計画』(いずれも共著、学芸出版社)、『都市の未来』(共著、日本経済新聞社)など。

川島 輝幸 かわしま・てるゆき

1948年生まれ。慶應義塾大学文学部哲学科卒。1972年東京都入庁。目黒区配属。企画部計画担当副主幹、区民部まちづくり推進課長、区民部コミュニティ課長、企画部財政課長、企画部企画課長、企画経営部長を経て、2004年4月より目黒区政策室長。

細野 助博 ほその・すけひろ

1971年慶應義塾大学経済学部卒。1973年慶應義塾大学経済学研究科修士課程修了。1973～1978年日本ユニバック(現日本ユニシス)研究員。1981年筑波大学院社会工学研究科博士課程修了。1993年～現在、中央大学総合政策学部教授。1997～1998年メリーランド大学大学院客員教授。日本公共政策学会会長。財務省財政制度審議会委員。

〔著書〕『実践コミュニティビジネス』(監修・共著、中央大学出版部)、『政策学入門』(編著、東洋経済新聞社)、『中央省庁の政策形成過程』(編著、中央大学出版部)、『スマートコミュニティ』(中央大学出版部)など多数。

平 修久 たいら・のぶひさ

1955年生まれ。東京大学工学部都市工学科卒。コーネル大学博士課程修了。Ph. D. (都市及び地域計画学)。(社)海外コンサルティング企業協会、富士総合研究所を経て、現在、聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科教授。聖学院大学大学院政治政策学研究科教授。

〔著書〕『世界都市の成長と基盤整備 ニューヨーク・ロンドン・パリ』(共著、アーバンコミュニケーションズ)、『東京はこう変わる ―「遷都」「分権」の基礎知識』(共著、東洋経済新報社)、『成熟都市東京のゆくえ』(共著、ぎょうせい)。

〔論文〕「首都機能移転の経済的費用便益分析」(『応用地域学研究』第3号)、「アメリカのリンケージ施策の分類に関する一考察」(『都市住宅学』第23号)ほか。

井上 晶子 いのうえ・あきこ

1945年生まれ。千葉大学文理学部卒。1968年埼玉県入庁。中央児童相談所、県民部婦人対策課係長、自治文化課学習情報係長、生活福祉部高齢化社会対策推進室専門調査員、秘書課長、総合政策部次長、健康福祉部長を経て、2003年4月から川越市助役。

佐々木 信夫 ささき・のおお

1948年生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修了。法学博士(慶應義塾大学)。東京都庁総務局、企画審議室、都市計画局勤務をへて、1989年聖学院大学教授。1994年より中央大学経済学部教授、聖学院大学総合研究所・同大学院客員教授。2001年より中央大学大学院経済学研究科教授。カリフォルニア大学(UCLA)客員研究員、各種審議委員などを歴任。1987年日本都市学会賞、1999年NHK地域放送文化賞受賞。専攻は行政学、地方自治論。

〔著書〕『東京都政』、『都庁』(岩波新書)、『地方は変わるか』、『市町村合併』(ちくま新書)、『現代行政学』(学陽書房)、『自治体の公共政策入門』(ぎょうせい)など。

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

1951年東京都生まれ。1973年一橋大学社会学部卒。75年同大学法学部卒。同年住友化学工業株式会社入社。1985～90年、学校法人聖学院理事長秘書。1990年東京神学大学神学修士課程修了。キリスト教社会倫理学専攻。1990～95年聖学院アトランタ国際学校事務局長兼聖書科教諭。その間、1990～95年ジョージア州エモリー大学大学院にて「教会と国家の関係論」を学ぶ。1993～94年同州ジョージア大学大学院にて、アメリカ憲法修正条項を研究。1995年より現在、聖学院大学政治経済学部教授、大学宗教主任(2003年3月31日まで)。2000年より副学長、2003

年7月より学長代行。2003年12月1日付で学長。学校法人聖学院理事，米国法人聖学院アトラクタ国際学校理事。日本基督教団滝野川教会協力牧師，キリスト教文化学会理事長。

〔著書〕『新しき生』、『近代デモクラシー思想の根源——「人権の淵源」および「教会と国家の関係」の歴史的考察』（以上聖学院ゼネラルサービス），『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』（共著・聖学院大学出版会）。

菅原 啓州 すがはら・ひろくに

1943年生まれ。1966年東京大学法学部政治コース卒。中央公論社に入社，『中央公論』『自然』の編集に従事。1973年福音館書店に移籍，1975年以降編集長。月刊『子どもの館』（創刊～118号），『日曜日文庫』『土曜日文庫』の創刊，『いまは昔 むかしは今』（全5巻＋索引）など。在職中東京大学講師。2001年末退社。2003年より聖学院大学総合研究所特任講師。

〔著書〕特になし。訳書に『さむがりやのサンタ』（福音館書店），『J・R・R・トールキン——或る伝記』（評論社），『超大国ニッポン』（監訳，日本放送出版協会），『石のたんじょうび』（福音館書店）など。

小田川 興 おだがわ・こう

1942年生まれ。1965年早稲田大学哲学科卒。朝日新聞社入社。ソウル支局長，外報部編集委員などを経て，2002年退社。現在，聖学院大学総合研究所客員教授。日本記者クラブ会員。

〔著書〕『被爆韓国人』、『朝鮮半島・平和の構図』、『北朝鮮——その実像と軌跡』、『日朝交渉——課題と展望』、『日本のジャーナリズムとは何か』（共著），『北朝鮮問題をどう解くか』（編著）など。

佐藤 誠 さとう・まこと

1966年日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程修了。文学博士。同年，東京大学医学部精神神経科研究生修了。同年より日本大学文理学部・日本大学大学院心理学専攻において助手，専任講師，助教授，教授を歴任。2002年定年退職後，日本大学心理臨床センターにてカウンセラー，大学院生の指導にあたる。2004年3月，日本大学を退職。在職中から東京神学大学，ルーテル学院大学，自由学園などで非常勤講師を勤め，現在に至る。私立学校スクールカウンセラー。他に，クリスチャンメンタルケアセンター（CMCC），クリスチャンカウンセリングセンター（CCC）などで研修講師。

〔著書・共著〕『カウンセリング辞典』（誠信書房），『心理臨床』（啓明出版），『現代キリスト教カウンセリング第1・2巻』（日本キリスト教団出版局），『よい相談相手になるために』（キリスト新聞社）ほか多数。

吉岡 光人 よしおか・みつひと

1960年東京生まれ。1984年青山学院大学文学部第二部英文学科卒。1990年東京神学大学大学院神学研究科博士課程前期修了。現在、日本基督教団吉祥寺教会牧師。日本基督教団賛美歌委員。日本基督教団西東京教区副議長・宣教委員長。キリスト教カウンセリングセンター学習所講師。

〔著書〕『みんなで輝く日が来る』（アイオナ共同体賛美歌集・共著・日本基督教団出版局）、『神の時は今満ちて』（カール・ダウ Jr. 賛美歌集・共著・日本基督教団出版局）、『よい相談相手になるために——クリスチャン・カウンセラー入門』（共著・キリスト新聞社）ほか。

平山 正実 ひらやま・まさみ

1965年横浜市立大学医学部卒。医学博士。精神保健指定医。69年東京都教職員互助会三楽病院精神科医長。72年精神医学教室講師。82年自治医科大学哲学教室助教授。93年より現在、東洋英和女学院大学人間科学部教授。同年より現在、北千住旭クリニック院長。2002年10月より聖学院大学総合研究所客員教授として「カウンセリング研究センター」を立ち上げる。立教大学、星薬科大学、東京キリスト教学園、東京医科歯科大学等の非常勤講師を兼ねる。

〔著書〕『心の病の治療法が判る本』、『グリーンケアの行動科学』（共著）、『死生学がわかる』（共著）、『いのちの哲学』（共著）、『精神保健学』（共著）ほか多数。

藤掛 明 ふじかけ・あきら

1982年大東文化大学文学部卒。法務省に入省し、横浜少年鑑別所を皮切りに、大阪、浦和、八王子、東京の各少年鑑別所に勤務。その後神奈川医療少年院統括専門官、府中刑務所分類審議室上席統括矯正処遇官、富山少年鑑別所首席専門官を歴任。2003年4月より聖学院大学総合研究所専任講師。

この間、93年に臨床心理士資格を取得。立教大学および同大学院、徳島文理大学大学院非常勤講師を兼ねる。日本犯罪心理学会理事、日本描画テスト描画療法学会評議員。東京臨床心理士会研修委員長。牧会ジャーナル編集委員。

〔著書〕『非行カウンセリング入門』、『描画テスト描画療法入門』、『現代ひったくり事情』（共著）、『キリスト者の職業と召し』（共著）など。

ヤン・C・キム Young C. Kim

米ジョージワシントン大学名誉教授。元アジア研究所所長。現在、慶應大学東アジア研究所訪問教授。専攻は国際政治。アジア国際関係、アメリカの対アジア政策に関する著書多数。

康 仁 徳 かん・いんどく

1932年生まれ。1968年韓国外国語大学院修了。政治学博士。韓国中央情報部中共・ソ連分析官、北韓課長、海外情報局長、北韓局長兼南北調節委員などを歴任。1979年(財)極東問題研究所創立、同所長。1998年金大中政権の統一部長官。1999年7月から聖学院大学総合研究所客員教授。

〔著書〕『共産圏総覧』、『北韓全書』、『共産主義と統一戦術』、『言論・政治・イデオロギー』、『北朝鮮問題をどう解くか』(編著)など。

田ノ倉 亮爾 たのくら・りょうじ

1931年生まれ。1960年東京大学大学院哲学科(修士課程)修了。専攻・カント哲学。1961年より浄土真宗本願寺派浄興寺における僧務につき、1985年同寺住職に就任。この間、日本教学研究所、本願寺伝道院、大倉精神文化研究所、武蔵野女子大学仏教文化研究所等の研究員を歴任。1982年、浄興寺に現代人文科学研究所設立。

〔論文〕「キリスト教教育の構造」(1964)、「和辻哲郎とフィロロギー」(1981)、「現代ドイツにおける古典文献学の動向」(1982)、「歴史主義の行方——トレルチとマイネッケ——」(1983)、「女性観をめぐる親鸞と蓮如の比較」(1991)、「日本仏教と人権概念」(2000)、その他十数点。

森本 あんり もりもと・あんり

国際基督教大学人文科学科教授。

〔著訳書〕『ジョナサン・エドワーズ研究』、『アジア神学講義』(創文社)、『使徒信条』(新教出版社)、『Jonathan Edwards and the Catholic Vision of Salvation』(Pennsylvania State University Press)、『現代に語りかけるキリスト教』、『講座・現代キリスト教倫理・性と結婚』(共著) ミュラー『福音主義神学概説』(共訳)サイカー編『キリスト教は同性愛を受け入れられるか』(監訳)(以上日本基督教団出版局)、デコスタ編『キリスト教は他宗教をどう考えるか』(教文館)他。

大木 雅夫 おおき・まさお

東京大学大学院社会科学基礎法学専門課程博士課程修了。法学博士（東京大学）。上智大学名誉教授。聖学院大学大学院政治政策学研究科長・教授。

〔著書〕『日本人の法観念』、『比較法講義』、『資本主義法と社会主義法』、『異文化の法律家』など。

近藤 勝彦 こんどう・かつひこ

東京大学文学部哲学科卒。東京神学大学大学院修士課程修了。神学博士（テュービンゲン大学）。東京神学大学教授。聖学院大学大学院特任教授。

〔著書〕『現代神学との対話』、『歴史の神学の行方』、『トレルチ研究 上・下』、『デモクラシーの神学思想』、『伝道の神学』など。

ディーン・W・サザデン Dean W. Sotherden

1960年生まれ。1982年オハイオ大学卒。テンプル大学にてM. Ed.取得。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。SLI副所長。

〔論文〕A Literature Review of Motivation and Second Language Acquisition, Unraveling the Mystery of Motivation in EFL Education, An Introduction to Some Important Writings Relevant to EFL and ESL Education, The Role Of Discourse Analysis In EFL Education, The Japanese Identity Crisis: Friend Or Foe Of English Language Teachers? (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.21, 2001), Is Learning English Truly Advantageous For the Japanese? (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.22, 2001), Cross-Cultural Education And Intercultural Communication (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.23, 2001), The Art Of Teaching English As A Foreign Language In Elementary School (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.24, 2002), Creating An Environment That Is Conducive To Learning (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.25, 2002), Demystifying Learning (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.26, 2002), Teaching Listening In EFL Classes (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.27, 2003).

エバート・D・オズバーン Evert D. Osburn

Multomah School of the Bibleなどで学び、1988年、Oregon Western Seminaryで、Exegetical TheologyのM. A.を取得。同年、The Independent Fundamental Churches of Americaで按手を受け、日本キリスト教団西荒川教会に宣教師として赴任。現在、同教会牧師。1992年、聖学院大学総合研究所所員になり、現在、聖学院大学総合研究所助教授。聖学院英語教育プログラム主事。

森田 美千代 もりた・みちよ

1946年生まれ。国際基督教大学大学院修士課程教育研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神学部 Master of Theological Studies 修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了（哲学博士）。現在、聖学院大学総合研究所助教授。

〔著書〕*Horace Bushnell on Women in Nineteenth-Century America* (University Press of America), 『人間の生と教育』（創言社）ほか。

〔訳書〕『理想の大学』（創言社）ほか。

〔論文〕“Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor: University Microfilms International, 1999. ほか。

鷗沼 裕子 うぬま・ひろこ

1934年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科倫理学専攻過程単位取得満期退学（文学修士）。現在、聖学院大学人文学部日本文化学科教授。

〔著書〕『近代日本のキリスト教思想家たち』（日本基督教団出版局、1988）、『史料による日本キリスト教史』（聖学院大学出版会、1992）、『近代日本キリスト者の信仰と倫理』（聖学院大学出版会、2000）。